

# 九州観光推進機構 活動レポート

— 2012年11月号 —

感動がある。物語がある。九州



## ◆ 10月のトピックス

### ○ インドネシア・2012 VJ Travel Trade Meet in Jakarta への参加 (10月1日～2日:ジャカルタ)

インドネシアのジャカルタにおいて、JNT0 が主催する現地旅行会社を対象とする観光セミナー及び商談会に参加し、九州の豊富な観光資源をPRしました。また、ジャカルタ市内の有力な旅行会社への訪問セールスを実施し、新たな九州商品の造成につながる提案などを行いました。



### ○ 日韓交流おまつりへの出展事業 (10月3日:ソウル)

ソウル特別市のCOEXで開催された「日韓交流おまつり2012」に出展し、九州の観光PRを行いました。当事業は、九州に関心を持つ一般消費者向けに九州観光をPRするもので、九州の豊富な観光資源を直接アピールし九州への誘客促進を図るもので、日本からの参加団体は昨年より多く22団体が参加し、おおいに盛り上がりました。



### ○ シンガポール・Japan Travel Fair 2012出展事業 (10月5日～7日:シンガポール)

シンガポールにおいて、JNT0 が主催する日本に特化した一般消費者向けの旅行博に出展し、九州の豊富な観光資源をシンガポールの消費者に直接PRするとともに、現地旅行会社と連携し、約800名の一般消費者の方々に、九州旅行商品のパンフレットを九州ブースで配布しました。



### ○ 平成25年度上期九州観光素材説明会・相談会の開催 (10月11日:東京)

平成25年度上期の九州向け旅行商品の造成促進を図るため、品川プリンスホテルにおいて、旅行会社の商品造成担当者を対象とする「観光素材説明会・相談会」を開催しました。説明会はJR九州と共催で開催し、参加者は、旅行会社、マスコミ、関係者を合わせて259名でした。

説明会では、「キューちゃん」が登場して会場を盛り上げると共に、九州各県の最新の観光素材や「九州オルレ」、「九州女子旅」、「JRななつ星」、「よかよかエアライズ」等の説明を行いました。

引き続き実施した相談会では、旅行会社が各県のブースを回って相談に応じ、各ブースでは熱心なやり取りが交わされました。



## ○ 「来て見て食べて感動！九州観光・物産フェア2012」を開催（10月12日～14日：東京）

「来て見て食べて感動！九州観光・物産フェア2012」（主催：「来て見て食べて感動！九州観光・物産フェア」実行委員会）を代々木公園で開催しました。6回目となる今年は、過去最多の約100店が出展し、九州のグルメ、名産品などの実演販売が行われました。今年は、「絆で集うふるさとの味」と題し、九州以外の地域の実演販売も行われました。また、ステージでは、九州各県ゆかりの芸能人によるミニライブと芸能人自らが観光PRを行ったほか、「くまモン」をはじめ九州各県のゆるキャラが大集合しました。さらに、郷土芸能として「長崎龍踊り」「おはら祭」「バナナの叩き売り」が披露され、会場を盛り上げました。



そのほか観光PRブースでは、各県全ての体験ものも揃い、有田焼の絵付け体験や野菜ソムリエによる簡単鹿児島ゴーヤ料理教室、別府竹細工体験を行いました。



最終日のみ小雨に見舞われましたが、ほぼ好天に恵まれたこと、かつ、テレビ・ラジオ等で例年以上の露出が図られたことなどから、来場者は昨年（14.2万人）を大幅に上回る過去最高の22万人が訪れ、好評のうちに終了しました。

## ○ ITB Asia 2012出展事業（10月17日～19日：シンガポール）

シンガポールにおいて毎年開催される、世界的な旅行業界関係者向けのアジア国際ツーリズム・マーケット展に出展参加し、ブースにおける商談（合計60件）を行うとともに、九州観光の資料配布を行い、九州の豊富な観光資源をPRしました。



## ○ 韓国「VJ九州観光説明会・商談会」（10月18日：ソウル）

「九州観光説明会・商談会2012」を、ソウル特別市で現地旅行社を対象に開催しました。当事業は日本側から九州各県より観光関係者が参加し、韓国の旅行社へ九州の魅力を直接訴えて、九州の豊富な観光資源をアピールし、九州への誘客促進に努めました。日本側からは58団体、韓国側からは88団体の観光業界の方々に参加いただきました。商談会に先立ち九州観光説明会では、トレッキング事業として昨年度立ち上げました九州オルレ事業を中心に、九州全体のPRを行いました。



## ○ 香港でのイベントを活用した九州観光PR（10月21日：香港）

香港日本文化協会創立50周年記念行事として、日本総領事館、JNTO、国際交流基金及び当機構等からの後援、日本航空等からの協賛により、九龍灣国際展貿中心（International Trade & Exhibition Centre）を会場として「全香港日本事情クイズ大会2012」が開催され、出場223チームのうち予選を勝ち抜いた5チームが決勝に進み、ステージ上で決勝戦（50問）に挑みました。

クイズの中では、JR九州クルーズトレイン「ななつ星」、「西郷隆盛」、長崎を舞台にしたオペラ「蝶々夫人」、菅原道真を祭った「天満宮」などの他、坂本龍馬を撮影した長崎の「上野撮影所」や「くまモン」など九州にゆかりのあるテーマでの出題があり、日本に強い興味・関心を持つ香港の方々に九州の魅力を直接伝えることができました。また、来賓、審査員及びスタッフを含む約800人に対し、繁体字版の九州マップの配付も行いました。



### ○ 平成25年度上期九州観光素材説明会・相談会の開催（10月23日：名古屋）

平成25年度上期の九州向け旅行商品の造成促進を図るため、東京に引き続いてホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、旅行会社の商品造成担当者を対象とする「観光素材説明会・相談会」を開催しました。参加者は、旅行会社、マスコミ、関係者を合わせて76名でした。

説明会では、「九州各県の最新の観光素材や「九州オルレ」、「九州女子旅」、「JRななつ星」、「よかよかエアラインズ」等の説明を行いました。引き続き実施した相談会では、旅行会社が各県のブースを回って相談に応じ、各ブースでは熱心なやり取りが交わされました。



### ○ 平成25年度上期九州観光素材説明会・相談会の開催（10月25日：大阪）

平成25年度上期の九州向け旅行商品の造成促進を図るため、東京、名古屋に続く第3弾としてホテルグランヴィア大阪において、旅行会社の商品造成担当者を対象とする「観光素材説明会・相談会」を開催し、旅行会社、マスコミ、関係者を合わせて110名の参加がありました。



### ○ 台北国際旅行博(ITF2012)出展事業（10月26日～29日：台北）

台湾最大の旅行博覧会である「第20回台北国際旅行博（ITF2012）」に出展し、旅行会社及び一般市民向けに九州の観光PRを行いました。今回は262,590人の来場者があり、昨年に続き2年連続で過去最多を更新しました。

九州ブースでは、台湾人が訪日旅行に求める「食」「温泉」「自然・景勝地」に加え「楽しい列車の旅」をPRする装飾で他地域との差別化を図るとともに、千本つりを使ったアトラクションやアンケートを実施し、連日順番待ちの行列ができるほどの盛況となりました。また、別会場でのプレゼンテーションでは7県のプロフィールを紹介しました。昨年度同様今回も機構や各県等が準備した観光パンフレット類は連日品切れになりましたが、今年度特に目立った傾向としては、JR九州パスの情報を求める来訪者が多かったことが挙げられます。

なお、今回は台北鹿児島線の3月就航、10月増便により南九州への注目が高まったことから、宮崎・鹿児島両県が連携して南九州ブースを隣接して出展し、こちらも大きな賑わいを見せました。さらに、東アジア誘客3県都市連携会議（福岡市、武雄市、嬉野市、雲仙市、平戸市）が九州ブースの応援を行うとともに、日本パビリオンのVJミニステージにおいて「九州西部ご当地クイズ」を毎日開催しました。



### ○ 平成25年度上期九州観光素材説明会・相談会の開催（10月30日：広島）

平成25年度上期の九州向け旅行商品の造成促進を図るための旅行会社の商品造成担当者を対象とする「観光素材説明会・相談会」をメルパルク広島において開催しました。広島での参加者は、旅行会社、マスコミ、関係者を合わせて84名となりました。東京、名古屋、大阪、広島と続いた説明会は、11月の福岡で一連の説明会を終了します。





## ○ 婦人画報社への取材協力・特集発行（10月）

ハースト婦人画報社「婦人画報」の九州のお茶文化および九州の焼き物特集に協力しました。お茶文化特集では、武者小路千家「千宗屋」氏をメイン起用し、熊本の陶芸家「細川護光」氏の窯元、押戸石での茶席を取材、福岡では星野製茶園や聖福寺、九州国立博物館、福岡市美術館、恵光院などを取材し効果的な情報発信を実現することができました。また、焼き物特集では、唐津焼、三川内焼、小鹿田焼の窯元を中心に周辺のグルメ、宿を紹介しモデルコースとともに旅を喚起する内容となりました。

取材期日：平成24年5月12日～13日

※ハースト婦人画報社「婦人画報」、10万部発行



## ○ 講談社への取材協力・特集発行（10月）

講談社との初めてのコラボとして、講談社「フラウ」の九州特集に協力しました。女優「菅野美穂」さんを起用し、阿蘇・高千穂を取材した後、福岡の居酒屋、長崎の和華蘭文化、鹿児島島の屋久島などを取材するとともに、各地のパワースポット、温泉などの情報を出すことで九州全県の情報発信を行いました。

取材期日：平成24年7月下旬から約1ヵ月間

※講談社「フラウ」、8万部発行

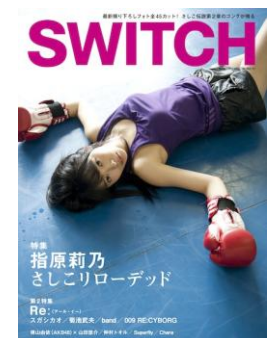


## ○ スイッチパブリッシングへの取材協力・特集発行（10月）

スイッチパブリッシング「SWITCH」のHKT指原莉乃特集に協力しました。これがスイッチパブリッシングとの初めてのコラボとなりました。指原さんを起用した内容では福岡の観光名所での撮影、HKTのメンバーを起用したものでは、太宰府天満宮、鳥栖プレミアムアウトレット、博多シティの取材を行ない、若い世代に向けた観光情報の発信を行いました。

取材期日：平成24年9月20日～22日

※スイッチパブリッシング「SWITCH」、12万部発行



## ◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

### ○ 「おもてなしフォーラム2013 in 九州」の開催について

昨年度に引き続き、当機構の主催により「おもてなしフォーラム2013 in 九州」を開催します。このフォーラムは、主に観光に携わる経営者・管理者・担当者の方々それぞれを対象に「基調講演」「分科会」を行い、幅広いテーマである「おもてなし」の重要性について理解を深めていただくものです。プログラムを更に充実させておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催日時 平成25年1月23日（水）13:00～16:30（受付 12:00～）
2. 会場 熊本全日空ホテルニュースカイ（熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地）
3. 参加費用 機構会員企業・団体の参加は無料、その他の一般参加は1,000円
4. テーマ、講師

#### (1) 基調講演 13:10～14:10

『ディズニーと三越で学んできた日本人にしかできない「気づかい」の習慣』

上田比呂志氏（老舗料亭の息子として生まれ育ち、おもてなしの心を学ぶ。その後、三越でサービススキルを勉強し、フロリダディズニーワールドで約250名の部下の人材育成に貢献。現在は独立し講演、企業研修、パーソナルコーチングを中心に活動）

(2)分科会 14:30~16:30 \*いずれかの分科会への参加となります。

- ①『中国人観光客の迎え方』(大瀧和代 氏 中国語通訳案内士)
- ②『五感に訴えるおもてなしの心』(安富まり子 氏 JTBビジネスサポート九州専任講師)
- ③『おもてなしの見える観光まちづくり~迎える側と旅行者側の評価のズレを解決するおもてなし~』(森田昌嗣 氏 九州大学大学院教授/デザイナー)
- ④『自己啓発・自己改革でおもてなし向上を』(大坪浩民 氏 株式会社講師)

5. 募集方法 専用WEBページ(九州観光推進機構HPトップページの「おもてなしフォーラム」バナーをクリック)または専用申込書のFAX(092-726-2384)によるお申込み \*定員になり次第締め切りとなりますので、お早目にお申込みください。

6. お問い合わせ先 九州観光推進機構 企画部 藤本、迎 TEL 092-751-2943

## ○ 11月以降の主な事業

- ・2012年度「第2回評議員会」を開催(11月2日:福岡市)
- ・遼寧省教育関係者等招請(11月6日~10日:福岡、長崎、佐賀、熊本)
- ・タイのマスコミ(雑誌)招請(11月7日~13日:福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎)
- ・「旅フェア日本2012」(11月9日~11日:東京(池袋))
- ・2012年度「第2回理事会」を開催(11月14日:福岡市)
- ・平成25年度上期観光素材説明会・相談会(11月15日:福岡)
- ・台湾 MOOK 出版ガイドブック「九州自遊人」取材支援(11月15日~21日:福岡、佐賀、熊本、大分、鹿児島)
- ・九州インバウンド商談会(11月24日~28日:福岡他)
- ・香港旅行雑誌「Uマガジン」九州取材支援(11月25日~12月2日:福岡、熊本、大分)
- ・女子旅研修ツアー1班(11月28日~30日:佐賀、熊本、大分)
- ・台湾エバー航空キーエージェント研修旅行招請(12月2日~5日:福岡、熊本、大分)
- ・フィリピンにおける観光セミナー・商談会への参加(12月4日~5日:マニラ)
- ・シンガポールのマスコミ(雑誌)招請(12月4日~9日:福岡、熊本、鹿児島)
- ・中部国際空港利用促進競技会 教育旅行説明会参加(12月5日:名古屋)
- ・女子旅研修ツアー2班(12月5日~7日:宮崎、鹿児島)
- ・香港旅行雑誌「ウィークエンドウィークリー」への広告出稿(12月10日:佐賀、大分、宮崎)
- ・女子旅研修ツアー3班(12月13日~14日:福岡、長崎)
- ・観光庁主催「観光プロモーション in 羽田空港」出展(1月18日~20日:東京(羽田空港))
- ・台湾メディア(活字媒体+ブロガー)招請(1月:全県)
- ・在京ランド社招請(1月:長崎、熊本、大分)

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp